

長岡税務署長賞

みんなを助ける税金

長岡市立岡南中学校

三年 青柳 百花

私は十四年間生きてきた中で、たくさん税金のお世話になってきました。私は小学生の頃、あまり体が丈夫ではなくよく病院に行っていました。いろんな検査をしてもお会計のときに払うお金はいつも同じだったので不思議に思っていました。ですが、この税の作文を書くにあたって税金の使い道について調べたところ、医療費にも税金が使われていることが分かりました。例えば、健康診断や新型コロナウイルスのワクチン接種、介護サービスなど、さまざまな場面で税金が活躍しています。特に、最近さかんに行われているワクチン接種は、もし全額自己負担だった場合、金額が高いという理由で接種しない人もいて、現在のようにほとんどの人が二回以上接種しているという状況ではなかったと思います。なので、無料でワクチン接種をすることができるのは、とても幸せなことなんだと改めて実感しました。

初めの方に書いたとおり、私はよく医療機関を受診していました。なぜ毎回同じ金額なのかと調べていたときに、子供の医療費の

助成について私が住んでいる長岡市のホームページに書かれていたので見てみました。すると、子供は産まれてから高校を卒業するまでの間、通院は一回五三〇円、入院は一日二二〇〇円の支払で済むといった内容のことが書かれていました。このような助成がないと多額の医療費がかかり、家計に大きく負担がかかってしまうため、体調が悪くても病院に行けないという子供がでてくるかもしれません。なので、子供の医療費の助成にも使われている税金は、人々を助けてくれる救世主のようなありがたい存在だなと思いました。

これまで、国の税金のうち、医療に関係のある税金について書いてきましたが、そのほかにも教育や道路などの整備、さらに外国の支援などにも税金が使われています。国民の生活を支えるための税金だと思っていました。日本だけでなく世界中で役に立っていることを知り、とても驚きました。

このように、私たちは国からたくさんサポートを受けられます。ですが、それができているのは懸命に働き、所得税を納めている大人の方たちや、消費税や酒税など、さまざまな方法で税金を納めている国民全員のおかげです。なのでこれからは当たり前のように学校で勉強したり、きれいな環境で過ごせたりしていることに感謝をし、大人になって働くようになったら今までたくさんお世話になってきた分、恩返しをするつもりでしっかりと税金を納め、国に貢献したいと思います。